



高い所は抱っこしてもらって収穫しました

とれたての味は格別です

たくさんとれたよ！ くるみ保育所「りんご狩り」

10月30日、くるみ保育所の子どもたち86名と地域の方々が東有珠町の佐藤農園でりんご狩りを行いました。

当初は28日に行う予定でしたが、悪天候のため中止。待ちに待ったこの日は、雲ひとつない青空が広がっていました。

農園に到着すると、「たくさんなってる！」と収穫が待ちきれない様子。地域の方に手伝ってもらいながら、たくさん収穫することができました。

収穫の後には、今とったばかりのりんごを試食し、「あまくておいしい」と夢中でほおぼっていました。

稀府地区社会福祉協議会 —アクティビティ音楽活動教室—

11月4日、南稀府会館で稀府地区社会福祉協議会主催の「アクティビティ音楽活動教室」が開催され、約20名が参加しました。

これは、認知症や生活習慣病を予防しようと今年初めて行う教室です。講師にピアニストの太田亜紀子さんを迎え、「紅葉」などの童謡11曲を合唱したり、歌に合わせて身振り手振りを加えた軽い運動や歌詞を当てるクイズを行うなど、参加者全員が楽しみながら進められました。



歌いながらの運動…頭を使います

どこまで見えるかな～



就学予定児童健康診断

10月29日、市保健センターで平成27年度就学予定児童の健康診断が行われました。

この日は、東小学校に入学予定の約80名の子どもたちが集まり、視力・聴力検査と歯科・内科健診を受けました。

友達と遊びリラックスしていた子どもたち。健診が始まると少し緊張した様子を見せたものの、担当者の問いかけにしっかりと応えるなど新1年生になる意識が芽生えてきたようでした。

高校生が職業体験で初取材 —ヘルシーなメニューで「健康教育」—

11月13日、黄金五部会館で、「健康教育」が行われ、黄金第5区自治会女性部14名が参加しました。

初めに、市の栄養士が食生活改善について説明を行い、その後、グループに分かれて調理開始。

この日のメニューは、黒豆ご飯やかぶとシーフードのミルク煮など計5品を作りました。

参加者同士、笑顔を交えながら和やかな雰囲気が進められました。



伊達高校2年 大木志帆さん

私取材しました。

これから作るメニューの説明を聞く参加者

講演会の様子



新幹線は胆振地区でも走れるのか

10月23日、だて市民カレッジ「胆振地方における北海道新幹線の利用方策について」がカルチャーセンターで行われ、約40名が参加しました。

講師の佐藤馨一さん（北海商科大学商学部教授）は、新幹線の道内開業で日本の物流が変わることに触れ、学生に協力してもらい胆振地区のルートを新幹線が走ることができるか検証。結果、フリーゲージトレインという軌間を変えることのできる電車であれば可能で、北海道の未来の可能性を熱心にお話いただきました。



チームのために、拾い続けます！

光陵中バレーボール部3年生の廣瀬未佳さんが、北海道選抜選手に選ばれました。12月25日～28日、大阪市で行われる全国都道府県対抗中学大会に参加するメンバーの一員として、学校生活の合間をぬって、道内各地で行われる合宿でリベロとして頑張っています。

合宿では、高校生と一緒に練習しているとのことで「高さやパワーが違う。すごい」と楽しみながら練習している様子が伝わり、こちらまで前向きにさせてくれる笑顔も見せてくれました。

「北海道を背負って出場させてもらう。悔いのないようできる限りボールを拾って繋げていきたい」と、決戦への志を話してくれました。



光陵中バレーボール部3年生、心強い仲間です



意気込みを話す廣瀬さん